



横田 誠議員(新風)

佐野市行政経営方針
における令和3年度
の取組について



Q 限られた財源の有効活用や事業の選択と集中を加速する仕組みとして、行政評価の実効性をさらに高めていく必要がある。外部評価だけでなく、何らかの基準をもって、市民から意見をいただくことにより、各事務事業の評価に客観性を担保する必要があり、市民に判定・評価していただく取組や、行政評価条例を制定する取組を検討していくべきと思うが、どのように考えるか。

A 行政経営部長

本市は、佐野市行政評価実施規程を定め、行政評価を実施しており、外部評価についても、佐野市外部評価委員会設置要綱を定め、毎年外部評価を実施しています。このため、現時点で条例化する考えはありませんが、議員ご指摘のとおり、客観性をより担保するため、市民の皆様のご意見を評価に反映させる手法について、今後調査研究していきたいと考えています。



木村 久雄議員(公明党議員会)

障がい者支援
について



Q ※網膜色素変性症の患者が日常生活を過ごすのに必要なツールとして、暗所視支援眼鏡というものがある。本市の日常生活用具給付・貸与事業の給付種目概要を参照したところ、視覚障がい者が用いることができる補装用具は、つえと義眼と眼鏡に限られており、暗所視支援眼鏡について記載がない。暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付・貸与事業の対象に加えることはできるか。

A こども福祉部長

暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付等事業の対象種目に加えることについて、これまで本市において当事者などからの要望等は受けていません。今後は暗所視支援眼鏡利用のニーズの把握や、用具の性能や効果、先進的な自治体における実績などの情報を収集しながら、動向を注視したいと考えています。

その他の質問

☆診療所のトイレの改善について

※網膜色素変性症とは・・・

網膜の視細胞に異常をきたす遺伝性、進行性の病気です。症状は多彩ですが、暗いところでの見え方が悪くなる(夜盲)、視野が狭くなる(視野狭窄)などの症状が初めに表れ、病気の進行とともに視力低下などが表れることが一般的です。



慶野 常夫議員(政友みらい)

特定外来生物
クビアカツヤカミキリ
について



Q 佐野市では、南西部にある佐野フルーライインで特定外来生物クビアカツヤカミキリが集中して発生しており、果樹園農家から多くの不安の声が上がっている。果樹園農家に対し、防除対策の強化を行っているか伺いたい。

A 産業文化部長

本市は、果樹生産が盛んであり、近年発生しているクビアカツヤカミキリによる生産樹の衰弱、枯死等の被害が深刻な問題となっています。被害を拡大させないために、J A佐野果樹部会に加入している果樹栽培農家を中心として、害虫防除マニュアルの配布や害虫の生態、防除方法の現地講習会を、栃木県安足農業振興事務所指導のもと、実施しています。今後も関係機関と連携し、果樹栽培農家に対して防除対策の強化を図りたいと考えています。

その他の質問

☆災害時の避難場所への電力供給について



▲ 特定外来生物クビアカツヤカミキリ